

「知事とみんなの愛顔でトーク」意見・提言等の県施策への反映事例

【令和7年度】

<p>地方局 (居住地等)</p>	<p>参加者の提言等</p>	<p>施策への反映状況</p>
<p>東予地方局 (新居浜市)</p>	<p>デフリンピックが 開催される中、 愛媛県でも手話言 語条例の制定をお 願いしたい。</p>	<p>【県議会】 令和8年3月に『愛媛県手話言語の普及及び障がいの特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例』が制定された。</p>
<p>南予地方局 (宇和島市)</p>	<p>イノシシ、ニホンジカの狩猟用くくりわなについて、愛媛県では法律の規定を超えたサイズが認められており、基準が分かりにくい。</p>	<p>【県民環境部】 イノシシ、ニホンジカの狩猟用くくりわなについては、『鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律』でわなのサイズの上限が規定されているが、愛媛県では、同法に基づく「第二種特定鳥獣管理計画」を策定することで、わなのサイズについての規制緩和を認めていることから、本取扱いについて、より丁寧に関係者へ周知してまいりたい。</p>
<p>大学生 (首都圏)</p>	<p>東京藝術大学と県のコラボについて、音楽分野も含めてほしい。</p>	<p>【観光スポーツ文化部】 東京藝術大学と共同開催しているアートベンチャーエヒメフェスでは美術分野に限らずアーティスト募集を行っており、令和7年度は、音楽分野でも1件の参加があったところ。 令和10年度開催の次回フェスでも、音楽やダンス等多様な分野のアーティストに参加いただけるよう、準備を進めてまいりたい。</p>